

評価シートに対する委員意見一覧

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	教育庁指導課 教育課程室	1. (千葉県らしさ)(千葉県独特の)→特色は何でしょうか。 2. 準備はできた状況ですが、この教材で何校が実施したのでしょうか。 3. 常識の変化、家庭教育のあり方の変化から重要な事業ですので、全ての学校で活用されることを期待します。
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	教育庁指導課 教育課程室	本事業は今最も求められている重要課題の一つと思います。研究校の実践結果を踏まえ、一層の充実を期待します。
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	教育庁指導課 教育課程室	子どもの人格形成で大切なことなので、積極的に活用して欲しい。
I-1-1	2	学校人権教育の推進	教育庁指導課 人権教育室	事業の成果として、児童生徒の人権感覚の高揚が図られているとは「何を」もって言えるのでしょうか。
I-1-1	2	学校人権教育の推進	教育庁指導課 人権教育室	浦安市では、健全育成委員会が人権標語の募集を行い、表彰し推進している。
I-1-1	3	ちばっ子『学力向上』総合プラン	教育庁指導課学力向上室	学ぶ楽しみ、わかる喜びを十分に実感することこそが学校本来の目指すところ、「相当の成果を上げている学校」の取り組みを公開し、目的を達成することを期待します。また「授業の達人」の増加と研修にも継続して力を入れていきたい。
I-1-1	3	ちばっ子『学力向上』総合プラン	教育庁指導課学力向上室	引き続き取り組みに期待します。
I-1-1	4	いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施	教育庁体育課学校体育班	各校の取り組みの後、地区大会、県大会、表彰の場はあるのでしょうか。指導は大変と思いますが、参加校の増加を期待します。 又、指標(例:25年度 小学校30%、中学校 20%等)等を掲げることで、参加校の増加は期待できませんか。
I-1-1	4	いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施	教育庁体育課学校体育班	参加校が少ないのは問題。種目と内容の見直し、学校間で競い合うよう検討されていくよう期待します。魅力ある種目として、新たに考案することもよいと思います。某市ではドッジボールとフリスビーを組み合わせたスポーツを考案して人気も高まっていると
I-1-1	5	「体力づくり推進モデル校認定事業」の実施	教育庁体育課学校体育班	実践発表の機会を作ったこと。目標を達成したことは良かったと思います。今後も継続されることを期待しますが、各教育事務所毎に数値目標を掲げるのはいかがでしょうか。
I-1-1	5	「体力づくり推進モデル校認定事業」の実施	教育庁体育課学校体育班	モデル校での成果をもとに拡大していくことを期待します。
I-1-1	6	千葉県競技力向上推進本部事業	教育庁体育課体育課競技力向上班	若者の努力、活躍は県民の誇り、喜びでもあります。今後とも更なる事業の発展のため努力されることを期待します。
I-1-1	6	千葉県競技力向上推進本部事業	教育庁体育課体育課競技力向上班	国体の成果を活かし、県民の競技力向上に資することを期待します。
I-1-1	6	千葉県競技力向上推進本部事業	教育庁体育課体育課競技力向上班	各市によって温度差がある。スポーツ施設がないと、取り組みが弱くなる。施設の充実、体育協会の活用にも積極的に取り組む必要があると思う。
I-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験	教育庁文化財課学芸振興室	課題にもあるように、事業の目標、方策が達成されていないのは残念です。広報に何らかの問題があったのでしょうか。また、会場となった博物館を若者たちが身近に感じていないことも原因だったのでしょうか。 課題を改善してください。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
I-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験	教育庁文化財課学芸振興室	郷土料理を伝承していくことは大切なことと思います。体験参加者のほとんどが中高齢者とのことですが、千葉の農水産物を使った、若い人々に興味を持ってもらえるような新しい食文化を作っていくことも必要なのかも知れません。
I-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験	教育庁文化財課学芸振興室	まるごと誰が体験してどうなるのか明確でないし、上記3の見解であれば終了とします。
I-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験	教育庁文化財課学芸振興室	郷土の食文化の由来や重要性について理解を深めることは大変重要なことと思うが、体験者のほとんどが中高齢者というのはいかがなものか。体験の内容があまり青少年の興味をひくものではないだろうか。
I-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験	教育庁文化財課学芸振興室	食育は、とても大切なことである。バランスの取れた食事の面からも、取り組みを見直しして欲しい。
I-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	教育庁文化財課学芸振興室	各回、何名の募集で何名の応募があったのでしょうか。そのうえで、集客率は何パーセントでしたか？募集に当たり、若者(年齢制限等)等の限定がなければ、事業目的外の中高齢者が応募されてもやむを得ない状況になります。募集方法への工夫が必要な
I-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	教育庁文化財課学芸振興室	この事業を通して川遊びの魅力を伝える事と同時にその安全教育もすることは可能でしょうか。
I-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	教育庁文化財課学芸振興室	広く団体等にも広報されては如何か。
I-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	教育庁文化財課学芸振興室	川のフィールドミュージアムは、なぜ参加者が中高齢者ばかりなのでしょう。青少年に魅力のあるプログラムを工夫する必要があるでしょうか。
I-1-1	9	放課後子ども教室推進事業の子どもの居場所づくり	教育庁生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	待機児童問題を抱える保育所と同様に、放課後ルーム等の子どもの居場所は大変重要な事業である。施設、指導員さん等の質の向上を目指し、今後とも充実されるよう期待します。予算の減額は改善される様、努力して下さい。
I-1-1	9	放課後子ども教室推進事業の子どもの居場所づくり	教育庁生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	学校と地域の連携により、子どもの安全・安心な居場所づくりが進んでいる様子です。更なる広がり内容の充実を期待します。
I-1-1	9	放課後子ども教室推進事業の子どもの居場所づくり	教育庁生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	男女共同参画、女性の働く機会の増強に繋がる事業で継続・拡大すべきと思います。
I-1-1	9	放課後子ども教室推進事業の子どもの居場所づくり	教育庁生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	特にスポーツについては、学校の体育館を市民団体に開放しているのだから、利用団体の協力関係を構築することを検討して欲しい。
I-1-1	10	青少年教育施設における自然体験・生活体験活動の推進	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育施設班	目標値達成度98%に努力されたことは認めます。今後の方向性にあるように、それを多くの現場で活用される様に、又活用場を作られることを期待します。
I-1-1	10	青少年教育施設における自然体験・生活体験活動の推進	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育施設班	自然体験・生活体験活動の実施の推進を期待します。
I-1-1	10	青少年教育施設における自然体験・生活体験活動の推進	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育施設班	養成した指導者の活動の機会をどう提供していくかが課題です。
I-1-1	10	青少年教育施設における自然体験・生活体験活動の推進	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教	当市では、PTAの”おやじの会”が中心になって、キャンプ等を通して自然体験を行っている学校が多い。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
I-1-1	11	週末ふれあい推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	参加者の募集目標は総計何人でしょうか。 (前年比-280人をどの様に考えたらいいか) 事業の目標は達成されたとのことですが、参加者の年齢別集計把握を知りたい。
I-1-1	11	週末ふれあい推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教	計画番号10で養成された指導者はこの事業にも関わっていかれるのでしょうか。
I-1-1	11	週末ふれあい推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	参加者が好む団体活動へと進んでいくことが望まれます。
I-1-1	11	週末ふれあい推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	施設・設備の老朽化が心配されます(No.12も同様)より利用しやすい施設環境の向上を目指していただきたい。
I-1-1	11	週末ふれあい推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教	異年齢の交流では、当市では大潟村とのふるさと交流事業、洋上研修に依り交流を深めている。
I-1-1	12	青少年教育施設の運営	教育庁生涯学習課 社会教育振興室	利用者の数値目標を提示することを期待します。
I-1-1	12	青少年教育施設の運営	教育庁生涯学習課 社会教育振興室	県立の5所のみならず、千葉市立少年の家等も含めた交流を図っては如何か。
I-1-1	13	子どもの読書活動推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	活字離れ、コミュニケーション能力不足など指摘される今、「読書」は子どもの成長に大切な心の栄養である。本事業の積極的な推進と、ボランティアの方々の活動の場の拡大等に更なる努力を期待します。
I-1-1	13	子どもの読書活動推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	子どもにとって重要な事業なので、是非継続・推進いただきたい。
I-1-1	13	子どもの読書活動推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教	当市では、朝の時間に読書活動を推進している学校が多い。
I-1-1	14	通学合宿推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	保護者にとっても、児童生徒にとっても、経験させたい、したい重要な事業です。ボーイスカウト、ガールスカウトなどの期間と連携する等、スタッフの養成確保に工夫され、参加者の増加に努力して頂きたい。
I-1-1	14	通学合宿推進事業	教育庁生涯学習課 社会教育振興室・社会教育班	青少年教育施設を県立以外に市町村立にも協力要請するなど継続・推進して頂きたい。
I-1-1	15	「ちば・ふるさとの学び」活用推進事業	教育庁教育政策課 教育立県推進室	会議や研修で周知しても、学校現場での活用についてはどうか。忙しい学校現場で、どのように工夫して活用されているのだろうか。
I-1-1	16	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	「早ね、早おき、朝ごはん」のキャッチフレーズは浸透しているが、各家庭での実行はなかなか困難。長期継続して努力されることを期待します。
I-1-1	16	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	更に継続して推進する意義があると思います。
I-1-1	16	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	色々な機会を捉えて、「千葉県子どもの誓い・7つの大事なこと」をPRしている。徐々に浸透して来ているように思うが、まだ知らない人も多い。息の長い活動をしていきたい。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
I-1-1	17	ちば食育活動促進事業	安全農業推進課食の安心推進室	課題、問題点に指摘された様に、県民自らの行動や実践にいかに関わりつけていくのか、継続して努力されることを期待します。
I-1-1	17	ちば食育活動促進事業	安全農業推進課食の安心推進室	長寿日本一の長野県では地産地消の食材で、県民にメニューを提示し県民の健康増進をはかっている由。長野県より気候条件の良い千葉県も目標を定めて、頑張っているではありませんか。
I-1-1	18	いきいきちばっ子食育推進事業	教育庁学校安全保健課給食班	農業、漁業の盛んな千葉県らしい特色ある食育活動になるよう工夫されることを期待します。
I-1-1	18	いきいきちばっ子食育推進事業	教育庁学校安全保健課給食班	食育ノートがどのように活用されているのでしょうか。食に関する意識の高まりはどのような形で見られるのでしょうか。
I-1-1	19	豊かな人間関係づくり推進事業	教育庁教育政策課教育立 県推進室 教育庁指導課教育課程室	社会の変化、遊びの変化等で人間関係、コミュニケーション方法も激変した今、重要な施策です。プログラムの実施が児童・生徒への影響が見られる様努力されることを期待します。
I-1-1	19	豊かな人間関係づくり推進事業	教育庁教育政策課教育立 県推進室	小学校低学年、特に新入児童等への施策が重要だと思います。いじめが起こらないようしっかりとお願いします。
I-1-1	20	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課 企画班	これからの男女共同参画社会を生きる若者にとって、重要な事業である。広報のあり方、工夫が必要ではないでしょうか。
I-1-1	20	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課 企画班	講座等の開催について、ウィークデイの開催は参加しづらく、できるだけ土日開催を望みます。
I-1-1	20	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課 企画班	女性の社会進出が叫ばれて久しいが、男女の格差は縮まらない。日本の独自の文化によるものと思うが、共同参画の大切さを周知することが大切だと思う。
II-3-5	45-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	本問題に組織的に、専門家として対応できる機関や団体は少ない。密な連携と人材の育成に努力して頂きたい。
II-3-5	45-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	各関係機関同士の連携を図ることは重要です。
II-3-5	45-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	この問題で困っている家庭は多いと思う。家庭の力では、どうにもならないことが多いので、社会の支援体制を充実させることが大切だと思う。
II-3-5	45-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	県民への周知の徹底が必要。今後も継続して広報されることを期待します。
II-3-5	45-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	「ライトハウスちば」が開設され、うまく機能しており、県民の方からの反響もよかったとのこと、相談窓口を一本化してよかったと思います。紹介先の専門支援機関が655箇所とのことですが、計画番号45-1の事業で連携が取れているのでしょうか。
II-3-5	45-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	ライトハウスちばの活動をみつつ、その拡大等を検討し、推進していくことが必要。
II-3-5	45-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	HPのアクセス件数が少ないことから、あまり周知されていないようにも見える。このような支援機関のニーズは大きいと思うので、もっと活用されるべきではないか。
II-3-5	46	障害者条例関連事業	障害福祉課・障害者権利擁護推進室	今後も千葉県が率先して取り組み、条例の周知のみならず生活しやすい環境づくりを実践してください。
II-3-5	47	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課精神保健福祉推進室	計画番号45-2との違いが不明。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
Ⅱ-3-5	47	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課精神保健福祉推進室	今後の事業の展開を期待します。
Ⅱ-3-5	47	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課精神保健福祉推進室	提案の方向で進めていただく。
Ⅱ-3-5	47	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課精神保健福祉推進室	大変重要な事業である。学校を卒業したあとの支援に手が届かず悩んでいる人も多いため、アウトリーチの対応ができるようがんばってほしい。
Ⅱ-3-5	47	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課精神保健福祉推進室	ひきこもり地域支援センターの活躍に期待しています。
Ⅱ-3-5	48	訪問相談担当教員の配置	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	家庭訪問等の出張予算などの必要経費ゼロ(予算記入無し)で成果を上げ、求めるのは何故?
Ⅱ-3-5	48	訪問相談担当教員の配置	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	不登校の話は身近によく耳にする問題です。引き続き継続していくべきと考えます。
Ⅱ-3-5	48	訪問相談担当教員の配置	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	訪問相談担当教員の方々は、大変よくやっついていらっしゃると思う。スーパービジョン等による指導・助言はもちろん、バーンアウトしないようにケアも必要。
Ⅱ-3-5	48	訪問相談担当教員の配置	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	訪問相談担当教員の活躍に感謝をしたい。
Ⅱ-3-5	49	生徒指導専任指導主事の配置	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	問題、課題の克服のためには、具体的に何が必要なのでしょうか。配置された指導主事の努力だけでは解決できないと思われます。
Ⅱ-3-5	50	不登校対策推進校の指定	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	不登校が社会問題としてクローズアップされて20年が経過している。にもかかわらず、教職員の理解や対応が不十分という学校の実情こそが問題である。担当者の苦労は大変かと思われるが、一層の努力を期待したい。
Ⅱ-3-5	50	不登校対策推進校の指定	教育庁指導課生徒指導室(教職員課)	計画番号48とも連携して推進することを望みます。
Ⅱ-3-5	51	問題を抱える子ども等の自立支援に関する調査研究(国の委託事業「生徒指導・進路指導総合推進事業」)	教育庁指導課生徒指導室	不登校問題は家族関係の悪化、家族の心身の健康問題も引き起こす問題である。更なる調査研究の充実を期待します。
Ⅱ-3-5	51	問題を抱える子ども等の自立支援に関する調査研究(国の委託事業「生徒指導・進路指導総合推進事業」)	教育庁指導課生徒指導室	計画番号48～50とも関連する課題、連携して進めていく。
Ⅱ-3-5	52	特別支援アドバイザー事業	教育庁特別支援教育課障害児支援室	発達障害等の問題は対応する人材も少なく、教育の現場や家庭においても大変困っているのが実情。ニーズに応えるには予算と人の手当である。課題を早急に解決すべく努力して頂きたい。
Ⅱ-3-5	52	特別支援アドバイザー事業	教育庁特別支援教育課障害児支援室	特別支援アドバイザーは現在何人でしょうか。
Ⅱ-3-5	53	特別支援教育コーディネーター研修	教育庁特別支援教育課障害児支援室	事業の成果を毎年達成できる様に事業推進してください。対応できる教員の増加を期待します。
Ⅱ-3-5	54	教育相談事業の充実	子どもと親のサポートセンター教育相談部	相談件数の増加、相談内容の多様化を考えると、相談員の資質の向上に力を入れて頂きたい。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
Ⅱ-3-5	54	教育相談事業の充実	子どもと親のサポートセンター教育相談部	このような相談ニーズは益々高まっていくと思われます。対応する体制を整えていく必要は認められます。
Ⅱ-3-5	54	教育相談事業の充実	子どもと親のサポートセンター教育相談部	大変ニーズの高い事業だと思うので、相談員の増員と資質の向上をお願いしたい。
Ⅱ-3-5	55	ちば地域若者サポートステーション事業	雇用労働課雇用就労支援班	短期間に成果を期待できにくい事業であるが、窓口をゆるやかに根気よく長くかかわることも必要。数字に左右されることなく取り組んで頂きたい。
Ⅱ-4-7	58	社会を明るくする運動補助金	健康福祉指導課地域福祉推進班	事業名が抽象的で、的を絞って取り組んでいっては如何かと思えます。
Ⅱ-4-7	58	社会を明るくする運動補助金	健康福祉指導課地域福祉推進班	色々な要件があると思われるが、各市各学校によって取り組みの温度差が大きい。「常に相手の立場になって考えることの大切さ」を学ぶものである。一層の取り組みを強化していただくために努力したい。
Ⅱ-4-7	59	青少年非行防止対策事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	今求められている重要な事業の一つですので、取組を強化して進めて頂きたい。
Ⅱ-4-7	59	青少年非行防止対策事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	関係危難の取り組みにより、危険性について、家庭でも理解されてきていると思われるが、有害サイトの規制については、甘い様に思われます。
Ⅱ-4-7	61	スクール・サポーター制度	県警本部少年課	大変ニーズの高い事業であり、学校としても要請が多いと思う。職員の増員と資質の向上をお願いしたい。
Ⅱ-4-7	63	少年サポート活動の推進	県警本部少年課	24年度は多くの事業を実施され非行防止に効果がありましたが、25年度は予算が激減しています。相当の工夫と努力がないと次年度に継続できないことは残念。
Ⅱ-4-7	63	少年サポート活動の推進	県警本部少年課	子どもたちの規範意識を高めるためには大人が範を示す必要がある。自転車の安全利用5則、携帯電話の利用、喫煙、飲酒、ゴミのポイ捨て等々、子どもの健全育成団体、学校で連携して規範意識の醸成に努めたい。
Ⅱ-4-7	64	薬物乱用防止対策事業	薬務課麻薬指導班	児童生徒への防止教室の開催回数の増加を期待します。
Ⅱ-4-7	64	薬物乱用防止対策事業	薬務課麻薬指導班	一度、中毒に陥ったら治すことの難しいのが薬物。学校の授業の中でも繰り返し教えて欲しい。
Ⅱ-4-7	65	薬物相談窓口事業	薬務課麻薬指導班	予算は何に使われているのでしょうか？人件費ではないと思いますが…。パンフレットの作成、窓口の広報等はあるのでしょうか？
Ⅲ-5-10	81	青少年育成団体への活動支援	教育庁生涯学習課社会教育振興室	時代の変化と共に継続に困難な事業や団体は多々あるが、「名ばかり団体」では意味がない。課題である少子化、価値観の多様化は団体の努力では解決不可である。各団体の創意工夫、相当の努力が必要である。今後の展望がない場合、単に補助金交付の事業としては問題である。
Ⅲ-5-10	81	青少年育成団体への活動支援	教育庁生涯学習課社会教育振興室	上記2(2)、3項で述べられているとおり、全てといってよい青少年団体は数十年続く会員減少に頭を悩ませている。少子化、価値観の多様化等もあるが、経済的要因も大きくなりつつある。補助金交付を増加することにより、少しでも会員負担軽減につながれ
Ⅲ-5-10	81	青少年育成団体への活動支援	教育庁生涯学習課社会教育振興室	次代を担う子供たちを心身共に健全に成長させることは、社会の責務。是非、確保に努力して頂きたい。
Ⅲ-5-10	82	連携・協働による地域課題解決モデル事業	県民交流・文化課協働連携班	事業の具体的な実情が評価シートからは伺い知ることができず残念。又、国の事業が県の事業として継続できなかった理由も知りたいものです。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
Ⅲ-5-10	83	学校とNPOとの連携促進事業	県民交流・文化課 協働連携班	学校は本来の教育以外にさまざまな満足、教育をすることを期待されている。それらを得意とするNPOがあれば、学校は積極的に活用し、双方が学び合い助け合うことで教育内容の広がり貢献できることを期待します。
Ⅲ-5-10	84	千葉県青少年協会助成事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	千葉県青少年協会が多くの事業を創意工夫して展開されていることは敬意を表します。教育委員会関係の事業と同様の事業もあることからより特徴を生かした事業の個性化も今後の課題では…と考えます。
Ⅲ-5-10	84	千葉県青少年協会助成事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	・私の思い～中学生の主張」は素晴らしい事業である。更に、参加校数の広がり期待します。 ・市町村民会議は県内全市町村に設置し県民会議と連携していくことが望まれます。
Ⅲ-5-10	85	青少年相談員設置事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	研修会への参加によって、お互いが刺激・学び合い、各地域での日頃の活動が活性化されることを期待します。
Ⅲ-5-10	85	青少年相談員設置事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	青少年相談員という名称を使っているが、相談活動を行っている訳ではない。活動の内容を代表するような名称にした方が良いと思う。ほとんどの人は、どんな活動をしているのか知らないと思う。
Ⅲ-5-10	86	青少年補導センター事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	青少年の遊びの変化、家庭環境の変化等で非行のあり方も変化している。地域で見守る努力を今後とも努力されることを期待します。
Ⅲ-5-10	86	青少年補導センター事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	青少年補導員は、パトロールを通して子どもたちと触れ合い、非行防止、健全育成に努めている。このために、多くの研修会に参加し、資質の向上に努めている。それ故、長くやればやるほど、子どもたちとの接し方、指導は上手になっていく。県民生活課の尽力により、色々な活動が強化されてきている。ただ、県内に30以上の市がありながら、19市にしか青少年センターが設置されていないことは残念です。青少年総合プランを実践する上でも設置すべきと思います。よろしく願いいたします。
Ⅲ-6-11	87	防犯意識を高める広報啓発事業	生活・交通安全課生活安全室	町内会における回覧板の活用、町内会総会における広報活動、学校における万引等の講演会など県民の関心は高い。効果を数値化できないが継続することが大切である。
Ⅲ-6-11	88	自主防犯団体トップリーダー養成事業	生活・交通安全課生活安全室	ボランティアの高齢化を嘆くことより、60歳以上の退職者(若手)の育成が大切。トップリーダーの活動状況をもっと県民が知る機会も必要。
Ⅲ-6-11	88	自主防犯団体トップリーダー養成事業	生活・交通安全課生活安全室	防犯ボランティアは、比較的高齢でも体力・気力が元気であれば良いと思います。段階の世代が年金生活に入るので、この人たちに活躍して頂くことを考えて欲しい。65～75歳、10年は活躍できる。
Ⅲ-6-11	89	地域の防犯力アップ補助事業	生活・交通安全課生活安全室	13市町の取り組みの発表等、お互いに刺激し合って学び合う取り組みも大切。補助金の活用方法をきちんと把握して頂きたい。
Ⅲ-6-11	90	安全で安心なコミュニティ推進事業	生活・交通安全課生活安全室	実施する市町村が拡大しないのは何故でしょうか。市町村が取り組めるようなシステムづくりの検討をお願いします。
Ⅲ-6-11	90	安全で安心なコミュニティ推進事業	生活・交通安全課生活安全室	登下校時の痛ましい事故が後を絶たない状況。本県が、安全・安心な県となるよう、継続実施していくことを望みます。
Ⅲ-6-11	91	ちばっ子安全・安心推進事業	教育庁学校安全保健課安全室	現状では実践校は何校でしょうか。机上の事業ではなく、早急に実践校の増加を期待します。

重点方策	事業番号	事業名	担当課	意見
Ⅲ-6-11	91	ちばっ子安全・安心推進事業	教育庁学校安全保健課安全室	青少年補導員も市内の危険場所を把握し、定期的にパトロールしている。
Ⅲ-6-11	92	青少年の社会環境づくり事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	「知らなかった」という無知が不幸を生み出すこともあります。条例の周知に今後とも取り組んで頂きたい。「関係機関への配布」について、より効果的な方法の検討も必要。
Ⅲ-6-11	92	青少年の社会環境づくり事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	さらに継続実施して、計画番号93事業とともに推進していく必要があると思います。
Ⅲ-6-11	93	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	現状の予算で100%の監視ができていますでしょうか。人手不足の課題はないのでしょうか。
Ⅲ-6-11	93	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活課子ども・若者育成支援室	ネットによる被害が増加している現状で、ネットパトロールの役割は大きいと思われますので、監視を続けていただきたい。
Ⅲ-6-11	94	暴走族総合対策の推進	県警本部交通捜査課	「検挙者は全て少年であった」ことから、事業の重要性が理解できる。検挙、離脱後の指導・相談も大事で再発を防ぐ努力にも期待します。